

たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～



早いもので今年度も残すところ3週間程度となりました。
今年度は、いろいろな場面で結論をすぐに出してしまうのではなく子ども同士が話し合い、色々な意見の中で思考を巡らせ考え合う時間を大切にしてきました。名付けて「子ども会議」です。

各年齢にあわせ、ねらいをもち少しずつですが言葉による伝え合いができるようになりました。また、異年齢の取り組みの中でも、ふれあう機会を取り入れて活動をしてきたことで目覚ましい成長が見られました。

残りの園生活は、来年度に向けて期待感をもって過ごせるように保育計画をしっかりと立案して過ごしていきたいと思えます。

マニフェスト「人権」

- ・人の話を聴いて相手の気持ちに気づく。
- ・自分が大切にされていると実感し、「自分が好き」と感じる。
- ・小さい子にやさしくしたり、大きい子に憧れをもったりする。



3月1日(金)全園児が集い「ひなまつり会」を行いました。



うれしい気持ちを伝えあう



成長を感じ自分に自信をもつ

【5歳児】



「工夫して作ってるね。」

集いの計画を事前に立案しました。めあてをもって学ぶために「自分や友だちの成長をよろこび祝い合う」という目標をもちました。

私からは、自分の気持ちを相手に伝え合っている場面を具体的に振り返り、「気持ちカード」を使って子どもたちにエピソードを伝えました。子どもたちには、「ありがとう。」の気持ちを相手に伝えられるようになったみなさんの成長がとてうれしく思うことを会の導入として話しました。そして、今日の会は、うれしい気持ちでいっぱい「ひなまつり会」にしましょうと伝え、笑顔のスタートとなりました。その後、子ども同士で成長した姿を伝え合ったり、ひな人形制作の工夫したところを紹介したりしました。5歳児は、「最初は怖いと思った鉄棒で逆上がりができるようになりました。」と発表していました。友だちの話をしっかり聴いている子どもたちの様子を見て成長を感じました。最後に、職員によるペープサート「わたしのおひなさま」を見て由来を学びました。

保護者アンケートの結果から「人権」の取り組みでは、前期は96%、後期は99%のプラス評価をいただきました。毎日の教育活動によって、子どもたちは人の気持ちに気づく力を身につけてきています。人の話を聴いたり、相手の立場にたって考えたりしていけるように私たちは取り組みを続けていきたいと思えます。ぜひ、お家でも子どもたちの成長を言葉に表して伝えていきましょう。また、絵本を通して豊かな感性を育むことも大切です。ご家庭でも絵本をたくさん読んで楽しみましょう。

子どもたちに大人気♡あいママレストラン



「学力」野菜栽培や小動物の飼育、収穫した調理や食事会、季節探しの散歩など、直接体験を楽しむことが「めあて」です。

この「学力」の中のひとつである直接体験の取り組み例を紹介します。4歳児がサニーレタスを栽培しました。収穫をして、みんなでどうするのか相談しました。「よし!あいママに作ってもらおう。」という意見でまとまりました。ここからは、言葉での伝え合いが始まります。「あいママ、レタスでお料理してもらえますか?」「もちろんよ!私に任せてね。マジカルをかけてレタスを変身させましょう!?!」「やったあ!お願いしま〜す!」たくさんのやりとりを経て「マジカル春のサラダ」が完成しました♡



「おいしそう!いい匂い!」
【マジカル春サラダ】



「あいママありがとう。」
【手紙を届けた4歳児】

お料理には、一工夫してあります。幼児が食べやすい大きさ、固さにしてあります。そして、食欲が増す彩りを考えました。ネーミングも大事ですね。

ドレッシングは、限られた調味料で作って、湯煎で少しあたためました。

自分たちで栽培した野菜が食べられてうれしさは格別だったようです。

栽培した野菜を収穫した後、話し合いで決める、喫食するなどの一連の流れがあります。この取り組みは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の指標のほとんどを含んだ内容となります。子どもたちにとって飛躍的な成長が見られた活動となりました。もうすぐ卒園する5歳児クラスからは、ジャガイモ料理のリクエストをもらっています。次回オープンの日をお楽しみに♡

ほっこりタイムの一場面より～Q&A～

Q: 子どもにどのように伝えるべきか悩んでいる。

A: 子ども同士のある場面を見て、相手の気持ちを伝えたいと思ったが、どのように言葉をかけていけばいいか悩んでいますというご相談でした。私には、そのお家の方がお子様のことをよく考え大切に思っていることが伝わってきました。

おおよそ5歳ぐらいになると相手の気持ちが分かるようになります。毎日の出来事の中で、ここは伝えたほうがいいと感じた時は立ち止まって話をされたほうがいいと思います。分かりやすい短い言葉で相手の気持ちを代弁していきましょう。その時は、分からない場合も多いですが、これを繰り返すことが幼児期は大事ですね。また、どのように言葉を掛けていいか分からない場合は、私たちにご相談ください。専門家に委ねることも時には大事だと思います。



今も続いている私と子どもの交換日記です。描くということ自分の気持ちを調整できる人もいます。自分の機嫌や感情をうまく調整できる力をつけるためには、人とかわり対話をすることも大事だと思います。簡単に言うと、ゲームや動画などを見続けていると、自分の気持ちを調整できる力は身につきませんね。これからもたくさんの対話をしていきましょう♡